

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年2月16日(2017.2.16)

【公表番号】特表2014-534169(P2014-534169A)

【公表日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【年通号数】公開・登録公報2014-070

【出願番号】特願2014-531256(P2014-531256)

【国際特許分類】

C 0 7 K	16/12	(2006.01)
C 1 2 Q	1/04	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	35/16	(2015.01)
A 6 1 K	35/14	(2015.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	15/14	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 0 7 K	16/12	Z N A
C 1 2 Q	1/04	
C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	35/16	
A 6 1 K	35/14	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	15/14	
A 6 1 P	11/00	
C 1 2 P	21/08	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年1月4日(2017.1.4)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 0 5】

本発明により、第一のアミノ酸配列および第二のアミノ酸配列を含むStaphylococcus aureusエピトープ結合部位を形成するペプチドまたはペプチドの配置が提供される。第一のアミノ酸配列は、配列番号1の配列と少なくとも88%同一であり、第二のアミノ酸配列は、配列番号2と少なくとも88%同一である。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0006】

態様において、第一のアミノ酸配列は、配列番号1の配列と、少なくとも90%同一、特に少なくとも92.5%同一、特に少なくとも95%同一、特に少なくとも97.5%同一、特に100%同一である。第二のアミノ酸配列は、配列番号2の配列と、少なくとも90%同一、特に少なくとも92.5%同一、特に少なくとも95%同一、特に少なくとも97.5%同一、特に100%同一である。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0008

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0008】

本発明者らは、WO 2010/133600 A1から知られる抗体の1つの結合領域を改変し、それによって、ヘパリン化されたヒト全血における食血球による食作用によるS. aureusの死滅の支援において、知られた抗体よりも、より効果的な結合部位を開発した。以下のアランメント配列から見られるように、配列番号1は、対応する配列番号13の配列とは、118アミノ酸の17箇所で異なり、および、配列番号2は、WO 2010/133600 A1から知られる配列番号14とは113アミノ酸の8箇所で異なる：

【表1】

配列番号	:1	EVQLLESGGGLVQPGGSLRLSCAASGFTFSNYMSWVRQAPGKGLEWVSDINGNGGSTYY	60
		V L ESGGGLV GGSL LSC ASGFTFSNYMSWVRQ P K LE V DINGNGGSTYY	

配列番号	:13	MADVKLVESGGGLVKLGSSLKLSCSASGFTFSNYMSWVRQTPPEKRLELVADINGNGGSTYY	62
------	-----	--	----

配列番号	:1	PDTVKGRFTISRDNSKNTLYLQMNSLRAEDTAVYYCVRGGYYALDYWGQGTTVTVSS	118
------	----	---	-----

	PDTVKGRFTISRDN KNTLYLQM SL EDTA YYCVRGGYYALDYWGQGTTVTVSS	
--	--	--

配列番号	:13	PDTVKGRFTISRDNAKNTLYLQMSSLKSEDTALYYCVRGGYYALDYWGQGTTVTVSS	120
------	-----	---	-----

配列番号	:2	DVVMTQTPLSLSVTPGQPASISCRSSQSLVHINGNTYLNHWYLQKPGQSPQLIYRVSNRF	60
		DVVMTQTPLSL V G ASISCRSSQSLVHINGNTYLNHWYLQKPGQSP LLIYRVSNRF	

配列番号	:14	DVVMTQTPLSLPVSLGDQASISCRSSQSLVHINGNTYLNHWYLQKPGQSPKLLIYRVSNRF	60
------	-----	---	----

配列番号	:2	SGVPDRFSGSGSGTDFTLKISRVEAEDVGVYYCSQSTHVPWTFGGTKELELR	113
		SGVPDRFSGSGSGTDFTLKISRVEAED GVY CSQSTHVPWTFGGTKELELR	

配列番号	:14	SGVPDRFSGSGSGTDFTLKISRVEAEDLGVYFCQSSTHVPWTFGGTKELELR	113
------	-----	--	-----

同一のアミノ酸は配列間の空間において表示されている。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0011

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0011】

本発明の態様において、抗体は、細胞株、特に昆虫の細胞株または哺乳動物の細胞株、特にチャイニーズハムスター卵巣(CHO)の細胞株、またはハイブリドーマの細胞株の細胞において生産される組み換え抗体である。第一のアミノ酸配列および第二のアミノ酸配列で形成されない抗体の一部は、ヒト抗体の対応する一部と、少なくとも85%同一、特に少なくとも90%同一、特に少なくとも92.5%同一、特に少なくとも95%同一、特に少なくとも97.5%同一、特に100%同一である。抗体の軽鎖は、配列番号6の配列、特に配列番号7の配列を含むことができ、重鎖は配列番号4の配列、特に配列番号5、配列番号9の配列、特に配列番号10の配列、または配列番号11の配列、特に配列番号12を含むことができる。配列番号7、配列番号5、配列番号10および配列番号1

2 の配列は、KV3A9_mous の MOPC 63、Ig kappa chain V-III からの配列番号 8 のリーダー配列を含む。本リーダー配列は哺乳動物の細胞においてよい発現を可能にする。配列番号 4 の配列は、配列番号 1 の配列および IgG1 の重鎖、ヒト 1 アロタイプ Gm 1、17 を含む。配列番号 6 の配列は、配列番号 2 の配列および IgG 軽鎖 K を含む。配列番号 9 の配列は配列番号 1 の配列および IgG2 の重鎖、アロタイプ G2m(23) を含む。配列番号 11 の配列は配列番号 1 および IgG4 の重鎖を含む。